

新旧文書比較 ソフト

システム導入の要件

- システム動作環境 ①Microsoft®Word®2007 ②NET3.5(インストーラーに同梱) ③VSTO3 (インストーラーに同梱)
- 導入形態 ①単体PCでの利用 ②既存「文書システム」組み込みでの利用 ※連携はシステムのAPIと調整
- 実装作業、導入指導 システム連携の場合は連携作業も可能です。

必要なハードウェア ※Microsoft Office 2007の動作環境に準拠します。

項目	仕様
CPU(マイクロプロセッサ)	動作周波数500MHz以上(推奨:1GHz以上)
メモリ容量	256MB以上(推奨:XPの場合は1GB以上、Vistaの場合は2GB以上)
ディスプレイ	1,024×768以上の高解像度ディスプレイ
ディスク装置	CD-ROMドライブまたはDVDドライブ
ハードディスク容量	16MB以上の空き容量(.NetFrameWork除く)

必要なソフトウェア

項目	仕様
OS	Windows XP (Home/Pro) SP2以降、Windows Server 2003 SP1以降のオペレーティングシステム
アプリケーションソフト	Microsoft Office 2007 SP1

新旧文書比較ソフトのラインナップ

	ライセンス数	新旧比較	新文書作成	構造アウトライン比較	旧文書列の保護機能	設定XML編集(スタイル編集)	文書管理サーバ連携
個人利用限定版	1PC	○	×	×	×	×	×
エントリーパック (構造アウトライン比較なし)	10PC	○	○	×	×	×	×
高機能パック (構造アウトライン比較版)	10PC	○	○	○	○	○	×
エンタープライズパック (高機能版PC版)	無制限PC	○	○	○	○	○	×
サーバーライセンス (起動用API付き、高機能版)	1サーバー (無制限PC)	○	○	○	○	○	○
MOSS連携版 (高機能版+MOSS連携モジュール)	1サーバー (無制限PC)	○	○	○	○	○	○

※各製品の価格および保守料に関しては、販売代理店へお問い合わせください。

開発・販売元

DIGITAL COMMUNICATIONS
www.sgml-xml.jp

株式会社 デジタルコミュニケーションズ

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-33 三洋ビル2F
Tel.03-5733-9566 Fax.03-5733-9588
E-mail : dc-eigyou@sgml-xml.jp

販売パートナー

- 1 金融商品申請用「新旧対照表」自動生成
- 2 設計書、マニュアル等の変更箇所自動抽出
変更箇所リストの自動生成
- 3 画像、表内部の変更箇所もチェック
- 4 旧バージョンのWordも比較可能
- 5 過去文書を読み込んで新文書作成

金融、医薬品、製造業、
官公庁等の認可申請文書や
商取引の契約書、
一般企業の業務規定類、設計書
マニュアル等の文書作成
などでご活用ください。



・重要文書の改訂の厳正作成・改定箇所確認や承認の簡便化
・文書作成の効率化、品質の向上・校正トラブル等の防止を実現します。

「重要文書」における新旧対照表の重要性

- 1 法的な規制に対する認可の必要な文書
金融商品の約款、医薬品の添付資料など、官庁の認可申請文書
- 2 商取引に必要な文書
基本契約書類、商品マニュアルなど
- 3 企業の内部統制に必要な文書
業務規定類、業務管理マニュアル、品質・技術標準に対する管理マニュアルなど
- 4 官公庁の公文書

これらは一般の文書と違って、「正確性」「整合性」「リアルタイム性」に加え、「文書の改訂内容の明確化」を厳しく要求されます。

一方、①商品・サービスの多様化で文書の記述内容の複雑化
 ②短期での商品・組織などの変更に対する改訂頻度の増加
 ③印刷物だけでなくWeb出力への対応
 等で、事務生産性の低下、事務リスクの増加、事務コストの増加だけでなく、対外的な企業イメージや商品ブランドへのリスクが大きくなっています。

1.基本機能



2.既存の「文書管理システム」とのインターフェイス機能

- ①Microsoft SharePoint Server (MOSS) 対応版
- ②IBM / File Net P8対応版
- ③Digital Communications/文織RSS対応版
 その他

「新旧文書比較ソフト」は
 ●単独での利用と、
 ●既存「文書管理システム」に組込んでの利用が可能です。

あらゆる文書の改訂作業の効率化と品質の向上を実現
 ドキュメント作成業務の150%効率UP!!

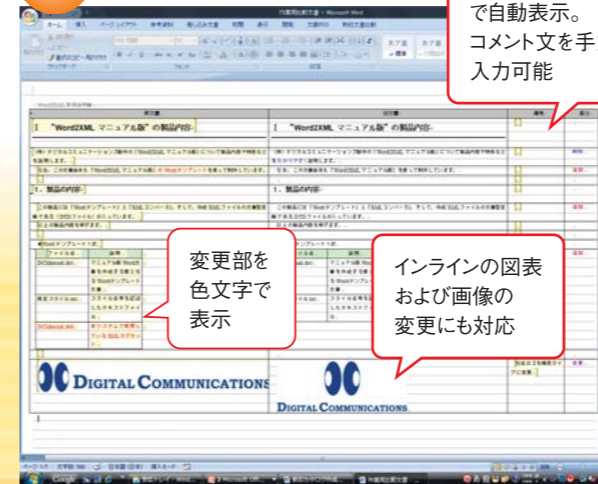
Word2007に「新旧文書比較」タブが追加されます



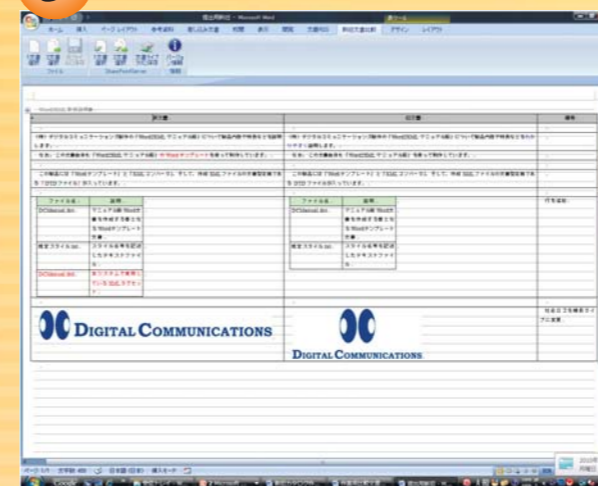
1 旧文書を読み込み新文書を作成



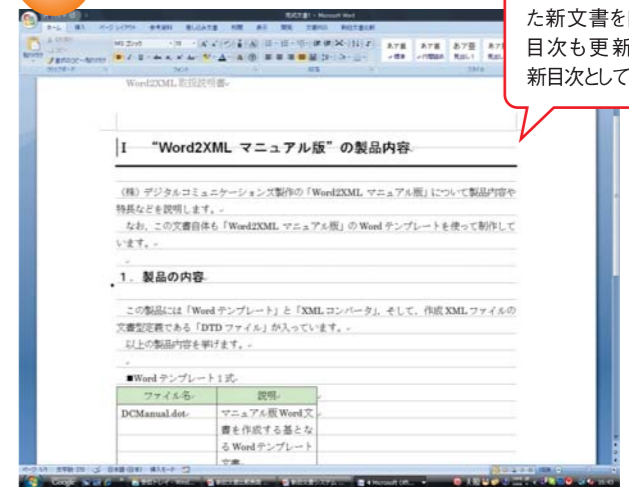
2 新旧文書の変更部表示



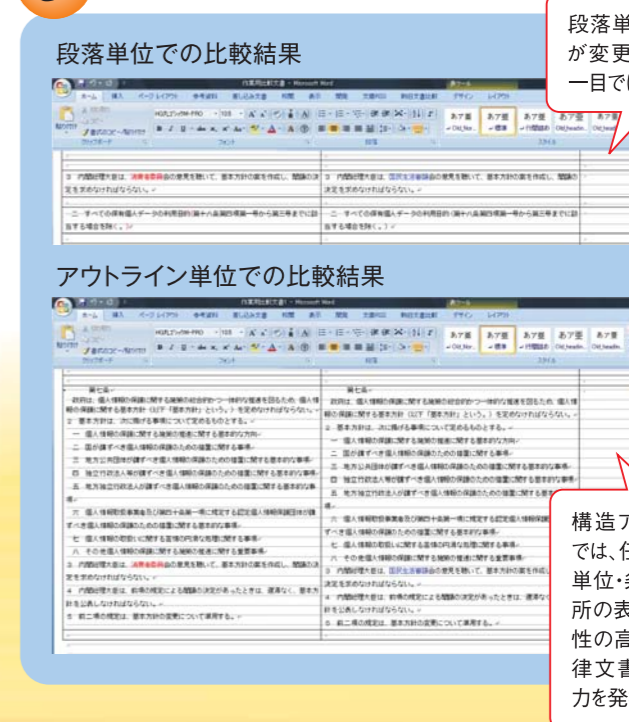
3 新旧対照表を自動生成



4 完成版の新文書の自動生成



5 構造アウトライン比較



Microsoft Office SharePoint Server (MOSS) 連携機能

